

平成25年度 第3回 温海地域審議会

次 第

日 時 平成25年10月31日（木）
午後1時30分～
場 所 温海庁舎 6階大会議室

1. 開 会

2. あいさつ

3. 報 告

- (1) 櫛引パーキングエリアの視察結果について
- (2) 温泉街のまちづくりに関する住民懇談会の結果について
- (3) 地域振興計画策定プロジェクトの進捗状況について

4. 協 議

- (1) 日沿道全線開通に向けた地域振興策について
- (2) その他

5. 閉 会

温海地域審議会委員

任期:平成24年7月1日～平成26年6月30日

| 所属団体名等 | 役職名等 | 氏名 | 備考 |
|------------------------------|---------|-----------|----|
| 温海地域自治会長会 | 会 長 | 奥 井 厚 | |
| 温海町森林組合 | 代表理事組合長 | 佐 藤 重 夫 | |
| 庄内たがわ農業協同組合 | 理 事 | 本 間 澄 男 | |
| 山形県漁業協同組合 | 理 事 | 本 間 満 | |
| 出羽商工会温海支部 | 理 事 | 馬 場 充 | |
| あつみ観光協会 | 会 長 | 柴 田 実 | |
| あつみ福祉会 | 理 事 | 本 間 英 機 | |
| 温海地区民生児童委員協議会 | 会 長 | 五十嵐 孝 昭 | |
| 温海地区小中学校PTA会長 連絡会幹事校PTA会長 | 会 長 | 加 藤 和 民 | |
| 温海体育協会 | 会 長 | 佐々木 眞 人 | |
| 鶴岡市老人クラブ連合会温海支部 | 支 部 長 | 五十嵐 幸 男 | |
| 温海地域婦人会 | 副 会 長 | 本 間 百 子 | |
| 温海芸術文化協会 | 事 務 局 長 | 榎 本 五 郎 治 | |
| 温海地域青年団体連絡協議会 | 代 表 | 伊 藤 貢 | |
| 鶴岡市消防団温海方面隊 | 方 面 隊 長 | 佐 藤 眞 | |
| 公募委員 | | 佐藤 眞紀子 | |
| 公募委員 | | 佐藤 容 介 | |
| 公募委員 | | 斎 藤 徹 | |
| 公募委員 | | 本 間 加 知 子 | |

温海地域審議会鶴岡市関係者名簿

| 所 属 | | 職 名 | 氏 名 |
|-------|-----------|--------------------|-----------|
| 温海庁舎 | | 支 所 長 | 伊 藤 彦 市 |
| 温海庁舎 | 総務企画課 | 課 長 | 本 間 節 子 |
| 温海庁舎 | 総務企画課 | 主 幹 (併)社会教育課 主幹 | 石 塚 み さ |
| 温海庁舎 | 市民福祉課 | 市民福祉課長 | 富 樫 達 男 |
| 温海庁舎 | 産 業 課 | 課 長 | 五 十 嵐 勇 一 |
| 温海庁舎 | 産 業 課 | 主 幹 | 佐 藤 光 治 |
| 総 務 部 | 温海税務事務室 | 室 長 | 丸 山 和 男 |
| 建 設 部 | 温海建設事務室 | 室 長 | 庄 司 又 兵 衛 |
| 温海庁舎 | 総務企画課 | 総務地域振興主査 | 五 十 嵐 浩 一 |
| 温海庁舎 | 総務企画課 | 総務地域振興専門員 | 本 間 由 縁 |
| 企 画 部 | 地 域 振 興 課 | 課 長 | 阿 部 真 一 |
| 企 画 部 | 地 域 振 興 課 | 主 査 | 三 浦 裕 美 |
| 企 画 部 | 地 域 振 興 課 | 専 門 員 | 前 田 哲 佳 |

温海地域審議会の開催状況

平成24年度

| 回数 | 開催日 | 内 容 |
|-----|--------|---|
| 第1回 | 5月24日 | 【報告】・平成24年度予算及び主な事業の概要について ・提言書について 【協議】・平成24年度地域審議会の内容について |
| 第2回 | 8月9日 | 【報告】・学校適正配置について 【協議】・地域審議会協議テーマについて |
| 第3回 | 10月5日 | 【協議】・地域審議会協議テーマについて (協議テーマに基づき分散会による協議) |
| 第4回 | 11月20日 | 【報告】・鶴岡市総合計画実施計画の策定について ・鶴岡市コミュニティ基本方針の策定について 【協議】(協議テーマに基づき分散会による協議) |
| 第5回 | 2月15日 | 【協議】・日沿道全線開通に向けた地域振興策について |

平成25年度

| 回数 | 開催日 | 内 容 |
|------------|----------------|---|
| 第1回 | 5月29日 | 【報告】・平成25年度予算及び主な事業の概要について ・新地域振興計画の策定について 【協議】・日沿道全線開通に向けた地域振興策について |
| 第2回 | 7月31日 | 【協議】・日沿道全線開通に向けた地域振興策について 【研修】・高速道におけるパーキングエリアの現状 (山形道櫛引パーキングエリアの視察) |
| 研修会 | 8月26日 | 【報告】「これまでの取り組みの検証」 【講演】「あつみ温泉のまちづくりの方向性」 (講師：まちづくりアドバイザー 東大 堀教授) 【懇談会】「これからの温泉街のまちづくり」 |
| 第3回 | 10月31日 | 【報告】・住民懇談会の結果について ・地域振興プロジェクトの進捗状況について 【協議】・日沿道全線開通に向けた地域振興策について |
| 第4回 | 11月21日 (予定) | 【報告】・鶴岡市総合計画後期計画の策定について 【協議】・鶴岡市総合計画後期基本計画の素案について ・協議テーマ「日沿道全線開通に向けた地域振興策 について」に係る提言書(案)について |
| 提言書 の提出 | 12月16日 (予定) | 市長に対し提言書を提出する。 (会長出席) |

これからの温泉街のまちづくり

～どんな取り組みが必要か～

気概が中途半端

高速道路が開通し観光業に追い風が吹いているのに、関係者一丸となっておもてなしを実践しようという気運も、観光を生業とする気概も中途半端で、街の魅力も一向に向上せず、うまく経済効果に繋がっていない。

観光地、観光客の増加は、観光客の心を惹きつけるための重要な要素である。観光客の心を惹きつけるためには、観光客のニーズに応えることが必要である。

観光客のニーズは、観光客の年齢、性別、職業、旅行目的などによって異なる。観光客のニーズに応えるためには、観光客のニーズを把握することが必要である。

観光客のニーズを把握するためには、観光客のアンケート調査やインタビューなどを行うことが必要である。

観光客のニーズに応えるためには、観光客のニーズを把握することが必要である。観光客のニーズを把握するためには、観光客のアンケート調査やインタビューなどを行うことが必要である。

観光客のニーズを把握するためには、観光客のアンケート調査やインタビューなどを行うことが必要である。

観光客のニーズを把握するためには、観光客のアンケート調査やインタビューなどを行うことが必要である。

本気で売り込もう

あらゆる情報発信手段を駆使するとともに、温海の多彩な魅力を地元民自らが体感して、実感を込めて本気で売り込むことが必要である。

あらゆる情報発信手段を駆使するとともに、温海の多彩な魅力を地元民自らが体感して、実感を込めて本気で売り込むことが必要である。

あらゆる情報発信手段を駆使するとともに、温海の多彩な魅力を地元民自らが体感して、実感を込めて本気で売り込むことが必要である。

あらゆる情報発信手段を駆使するとともに、温海の多彩な魅力を地元民自らが体感して、実感を込めて本気で売り込むことが必要である。

あらゆる情報発信手段を駆使するとともに、温海の多彩な魅力を地元民自らが体感して、実感を込めて本気で売り込むことが必要である。

あらゆる情報発信手段を駆使するとともに、温海の多彩な魅力を地元民自らが体感して、実感を込めて本気で売り込むことが必要である。

あらゆる情報発信手段を駆使するとともに、温海の多彩な魅力を地元民自らが体感して、実感を込めて本気で売り込むことが必要である。

一点集中

現状に諦めず、そぞろ歩きの楽しいまちというまちづくりコンセプトを貫き、魚を含めて川の見せ方を工夫するとともに、ハードの整ったかじか通りに一点集中して、ソフトのまちづくりを強力に展開すべきである。

現状に諦めず、そぞろ歩きの楽しいまちというまちづくりコンセプトを貫き、魚を含めて川の見せ方を工夫するとともに、ハードの整ったかじか通りに一点集中して、ソフトのまちづくりを強力に展開すべきである。

現状に諦めず、そぞろ歩きの楽しいまちというまちづくりコンセプトを貫き、魚を含めて川の見せ方を工夫するとともに、ハードの整ったかじか通りに一点集中して、ソフトのまちづくりを強力に展開すべきである。

現状に諦めず、そぞろ歩きの楽しいまちというまちづくりコンセプトを貫き、魚を含めて川の見せ方を工夫するとともに、ハードの整ったかじか通りに一点集中して、ソフトのまちづくりを強力に展開すべきである。

現状に諦めず、そぞろ歩きの楽しいまちというまちづくりコンセプトを貫き、魚を含めて川の見せ方を工夫するとともに、ハードの整ったかじか通りに一点集中して、ソフトのまちづくりを強力に展開すべきである。

現状に諦めず、そぞろ歩きの楽しいまちというまちづくりコンセプトを貫き、魚を含めて川の見せ方を工夫するとともに、ハードの整ったかじか通りに一点集中して、ソフトのまちづくりを強力に展開すべきである。

現状に諦めず、そぞろ歩きの楽しいまちというまちづくりコンセプトを貫き、魚を含めて川の見せ方を工夫するとともに、ハードの整ったかじか通りに一点集中して、ソフトのまちづくりを強力に展開すべきである。

現状に諦めず、そぞろ歩きの楽しいまちというまちづくりコンセプトを貫き、魚を含めて川の見せ方を工夫するとともに、ハードの整ったかじか通りに一点集中して、ソフトのまちづくりを強力に展開すべきである。

現状に諦めず、そぞろ歩きの楽しいまちというまちづくりコンセプトを貫き、魚を含めて川の見せ方を工夫するとともに、ハードの整ったかじか通りに一点集中して、ソフトのまちづくりを強力に展開すべきである。

現状に諦めず、そぞろ歩きの楽しいまちというまちづくりコンセプトを貫き、魚を含めて川の見せ方を工夫するとともに、ハードの整ったかじか通りに一点集中して、ソフトのまちづくりを強力に展開すべきである。

逆境を克服すべし

温海温泉は、物的・心的両面で中々まとまりにくく、負の連鎖でまちが衰退し危機的状況の今こそ、オール温海の視点と住民参画で、夢とインパクトのある温海らしいまちづくり目標を描き、沈滞ムードを払しょくしなければならない。

物的・心的両面で中々まとまりにくく、負の連鎖でまちが衰退し危機的状況の今こそ、オール温海の視点と住民参画で、夢とインパクトのある温海らしいまちづくり目標を描き、沈滞ムードを払しょくしなければならない。

物的・心的両面で中々まとまりにくく、負の連鎖でまちが衰退し危機的状況の今こそ、オール温海の視点と住民参画で、夢とインパクトのある温海らしいまちづくり目標を描き、沈滞ムードを払しょくしなければならない。

物的・心的両面で中々まとまりにくく、負の連鎖でまちが衰退し危機的状況の今こそ、オール温海の視点と住民参画で、夢とインパクトのある温海らしいまちづくり目標を描き、沈滞ムードを払しょくしなければならない。

物的・心的両面で中々まとまりにくく、負の連鎖でまちが衰退し危機的状況の今こそ、オール温海の視点と住民参画で、夢とインパクトのある温海らしいまちづくり目標を描き、沈滞ムードを払しょくしなければならない。

物的・心的両面で中々まとまりにくく、負の連鎖でまちが衰退し危機的状況の今こそ、オール温海の視点と住民参画で、夢とインパクトのある温海らしいまちづくり目標を描き、沈滞ムードを払しょくしなければならない。

物的・心的両面で中々まとまりにくく、負の連鎖でまちが衰退し危機的状況の今こそ、オール温海の視点と住民参画で、夢とインパクトのある温海らしいまちづくり目標を描き、沈滞ムードを払しょくしなければならない。

更なるレベルアップを

温海温泉は魅力が向上しているが、更に発展する為には、シンボルの温海川や朝市の付加価値を高め、伝統工芸を後継職人の育成を図ってセールスポイントに仕立て上げ、まち全体の魅力度を100%に近づける努力をし、ファンの掘り起しと新規投資を促す必要がある。

シンボルの温海川や朝市の付加価値を高め、伝統工芸を後継職人の育成を図ってセールスポイントに仕立て上げ、まち全体の魅力度を100%に近づける努力をし、ファンの掘り起しと新規投資を促す必要がある。

シンボルの温海川や朝市の付加価値を高め、伝統工芸を後継職人の育成を図ってセールスポイントに仕立て上げ、まち全体の魅力度を100%に近づける努力をし、ファンの掘り起しと新規投資を促す必要がある。

シンボルの温海川や朝市の付加価値を高め、伝統工芸を後継職人の育成を図ってセールスポイントに仕立て上げ、まち全体の魅力度を100%に近づける努力をし、ファンの掘り起しと新規投資を促す必要がある。

シンボルの温海川や朝市の付加価値を高め、伝統工芸を後継職人の育成を図ってセールスポイントに仕立て上げ、まち全体の魅力度を100%に近づける努力をし、ファンの掘り起しと新規投資を促す必要がある。

シンボルの温海川や朝市の付加価値を高め、伝統工芸を後継職人の育成を図ってセールスポイントに仕立て上げ、まち全体の魅力度を100%に近づける努力をし、ファンの掘り起しと新規投資を促す必要がある。

シンボルの温海川や朝市の付加価値を高め、伝統工芸を後継職人の育成を図ってセールスポイントに仕立て上げ、まち全体の魅力度を100%に近づける努力をし、ファンの掘り起しと新規投資を促す必要がある。

まだまだ未整備

温泉街全体を見れば、道路、トイレ、駐車場などのハード面から、木の老木化や休憩ベンチの劣化、川の転落防止といったソフト面まで、まだまだ整備やリニューアルすべき事項が沢山ある。

道路、トイレ、駐車場などのハード面から、木の老木化や休憩ベンチの劣化、川の転落防止といったソフト面まで、まだまだ整備やリニューアルすべき事項が沢山ある。

道路、トイレ、駐車場などのハード面から、木の老木化や休憩ベンチの劣化、川の転落防止といったソフト面まで、まだまだ整備やリニューアルすべき事項が沢山ある。

道路、トイレ、駐車場などのハード面から、木の老木化や休憩ベンチの劣化、川の転落防止といったソフト面まで、まだまだ整備やリニューアルすべき事項が沢山ある。

道路、トイレ、駐車場などのハード面から、木の老木化や休憩ベンチの劣化、川の転落防止といったソフト面まで、まだまだ整備やリニューアルすべき事項が沢山ある。

道路、トイレ、駐車場などのハード面から、木の老木化や休憩ベンチの劣化、川の転落防止といったソフト面まで、まだまだ整備やリニューアルすべき事項が沢山ある。

道路、トイレ、駐車場などのハード面から、木の老木化や休憩ベンチの劣化、川の転落防止といったソフト面まで、まだまだ整備やリニューアルすべき事項が沢山ある。

イベント再考

イベント再考の重要性を認識し、地域の魅力を最大限に引き出すための取り組みを行う必要がある。

- 1) 2019.10.15
- 2) ところ 温海庁舎
- 3) テーマ 温泉 住民参画会参加者
- 4) 作成者 温海庁舎産課 佐藤 光治

新潟海地域振興計画のイメージ

地域振興ビジョン

- プロジェクト1 「温海温泉の振興」
名称「そぞろ歩きが楽しい温海温泉のまちづくり」
- ① おもてなしの商店づくり事業
- ② 温海温泉周辺観光スポット整備事業
- ③ 人材育成推進事業
- ④ 都市再生整備計画策定事業
- プロジェクト2 「海・水産業を活かした地域活性化」
名称「輝く海と魚の活用による“旬鮮鼠ヶ関づくり”」
- ① 鼠ヶ関産海産物のブランド化促進の検討
- ② マスメディア活用方法の検討
- ③ はなさき路の賑わいづくりの検討
- ④ 地域資源を活かした体験事業の検討
- ⑤ 食やイベントによる地域振興
- ⑥ 既存資源・施設の有効活用
- プロジェクト3 「交流ソフトプログラムの開発」
名称「温ったか“あつみ”四季の味わい体験」
- ① 山里集落の生活体験
- ② 見る・遊ぶ・くつろぎの自然体験
- ③ 温海の歴史を楽しむ彩り体験

新地域振興計画

- ^{あつみ}プロジェクト1 「温海温泉の振興」
「そぞろ歩きが楽しい温海温泉の街づくり」
◎温泉街の整備
 - おもてなしの商店づくり事業
 - 温海温泉周辺観光スポット整備事業
 - 人材育成推進事業
 - プロジェクト2 「海・水産業を活かした地域振興」
◎漁業
 - ブランド化、食文化
 - ◎海洋レジャー
 - マリナーパーク、マリーナ
 - プロジェクト3 「交流を核にした地域振興」
◎体験型旅行・修学旅行の誘致
 - 体験プログラムの開発
 - ・農漁村体験
 - ・歴史・文化体験
- ・基本的なプロジェクトの内容は変更しないが、全体的に事業内容が細かいので整理する。
 - ・今後5年間で達成できる計画づくり

- 温泉街の目玉は何か
 - ・景観 ・朝市 ・バラ ・特産品
 - ・足湯 ・体験施設 ・歴史、文化資源
- 滞在型、体験型観光への対応
 - ・温海岳 ・天姥山 ・湯見ヶ滝
- 人材育成（コーディネーター）
 - ・観光協会の組織強化
- まちづくり団体の自主的活動への支援

- 鼠ヶ関を拠点として温海地域の海・水産業全体を対象にした事業展開
 - ・新鮮な水産物の活用、PR
 - ・漁業、若手漁師のPR
 - ・海洋レジャーのメニュ－
(漁船クルージング、ヨットなど)

- 地域全体をフィールドにしたプログラム
 - ・あつみ温泉周辺
 - ・協働の森（天姥山、温和の森、西山林道）
 - ・福の里（福栄地区）
 - ・鼠ヶ関を中心とした海岸地域

【あつみ温泉の賑わいづくりに対する提案】

温海庁舎地域振興計画策定プロジェクトチーム

○景観づくりについて

- ① 廃墟の撤去に特化した条例を制定し、空き家を整理する。
- ② あつみ温泉ルールを制定し、景観やインテリアなどの講座を開催する改築などに対する専門家の助言制度を作り、定期的に景観テスト（清潔検査のようなもの）を実施し景観を維持する。
- ③ あつみ温泉は生活感が強いので、温泉地の雰囲気を出すために源泉を露出させるなど温泉情緒を醸し出す必要がある。
- ④ せっかく人中心の道として「かじか通り」を整備したので、地元住民自ら不必要な路上駐車は行わないようにする。
- ⑤ 空き店舗利用に対しては何らかの行政支援を行い再利用を図る。
- ⑥ 温海川沿いは空間的な開放感があり、温海川の風情をもっと活用することが必要。
- ⑦ 温泉街全域を対象に賑わいづくりを行うには時間のかかることなので、まずは「かじか通り」や「葉月橋通り」など、エリアを指定して重点的に景観づくりに取り組む。
- ⑧ 交流の場を足湯と捉え、足湯の周辺に店舗を開店する。

○おもてなしについて

- ① 案内看板や案内標識を整備し、駐車場や見どころなどの案内を分かりやすくすること。
- ② 温泉街の沿道を小奇麗にする。
- ③ 店舗やお土産品のクオリティを高い次元で統一する。
- ④ 浴衣の客が入りにくるような共同浴場の雰囲気を変える。
- ⑤ 季節を問わず商店は店先を開放し、入りやすい環境を作る。
- ⑥ 住民に無理のない範囲でグリーン化やバラなどの花を植えてもらう。
- ⑦ 地元産の利用、たとえばテモノなどであってもレアな食材はある意味旅の思い出となる。
- ⑧ 店先に休めるベンチ、チョット座って飲めるような場所を作る。
- ⑨ 温泉情緒を演出するためには行政支援が必要。

○意識改革について

- ① あつみ温泉の「湯」を守る意識の醸成が必要。
- ② 住民が同じ方向を向くこと。
- ③ あつみ温泉全体の利益を考える。共同浴場、日帰り温泉は旅館の敵ではないということ。
- ④ 自分の家も温泉の景観にとっては共有財産であると意識を持つ。

○組織体制について

- ① 観光行政を観光協会に事務委譲する。併せて観光協会への市職員の派遣や外部人材の登用を検討する。
- ② 体験なども含めた観光窓口を一本化する。
- ③ 先導する組織、コーディネーター役を作る。
- ④ 観光の中心は観光協会だというメッセージを内外に発信する。

○観光事業について

- ① 送迎車を準備して海など温海地域、又は市内全体をフィールドにした体験プログラムの開発や体験プログラム付の宿泊プログラムを開発する。併せてガイドの養成を行う。
- ② 観光HPを魅力あるものにする。
- ③ 旅館の日帰り入浴は入りづらいことから、3つの共同浴場と旅館の風呂で共通手形を作るなど、共同浴場を観光資源として活用する。
- ④ 朝市の見直し、かじか通りや葉月橋の上で定期的に市（なんでも市など）を開催する。
- ⑤ 名物料理として統一したレシピを作成する。
- ⑥ 与謝野晶子などゆかりの著名人を活用した観光スポットを開発する。
- ⑦ 既存のイベント、スポーツイベント、学校行事とのコラボを図り、リピーターを確保する。
- ⑧ 日帰りで楽しめる温泉マップを作成する。
- ⑨ よその町を歩くのは意外と楽しいものなので、良くも悪くもネタが必要である。

温海地域審議会提言の骨子（案）

協議テーマ「日沿道全線開通に向けた地域振興策について」

キーワード「魅力ある地域づくりと温海地域のPR」

○ 地域産業の振興（サービスエリアの設置）

あつみ温泉IC～鼠ヶ関IC（仮称）間にサービスエリアを設置する

- ① 設置箇所・・・景観のよい場所、海が見える場所に設置する。
- ② 地元産品、お土産品の販売促進・・・早田孟宗などの特産品。
- ③ SAの名称・・・インパクトのあるもの、「あつみ」などの名称。
- ④ 情報発信基地・・・鶴岡市の玄関口、PR拠点として活用する。

○ あつみ温泉の活性化

- ① 空き店舗の活用・・・体験施設、ギャラリーなどに活用する。
- ② 施設の整備・・・温泉街の中心に駐車場、身体障害者用トイレを整備する。
- ③ 新たな市場開拓・・・首都圏から1泊圏内となることからPR強化を。
- ④ 朝市の再生
- ⑤ 目玉となるもの・・・天然水など特産品などの開発、地元産品の活用、こけしやかっぱ焼などを見直す。後継者育成も併せて検討する。

○ 鼠ヶ関地域の活性化

- ① アクセス道等の整備・・・ICから海岸への直通道路、7号との交差点、345号を改良する。
- ② 観光資源の整備・・・念珠関跡、念珠の松、義経伝説等歴史・文化的資源の整備。海鮮レストランなど新鮮な海の幸をPR。

○ 地域資源を活用した活性化

- ① あつみ温泉IC付近「協働の森」構想の推進
- ② 福栄地区「福の里」構想の推進
- ③ 国道7号沿線地域の活性化